

平成 2 4 年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A16	取組 名称	丹波漆を再興するための総合戦略
研究代表者：		生命環境科学研究科	職・氏名： 教授・椎名 隆
研究担当者：			
京都府立大学（椎名隆、石崎陽子（敬称略）） 外部分担者・協力者（岡本嘉明氏、大藪 泰氏、安藤 信幸氏、橘 洋一氏ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）			
京都府福知山市、NPO 法人丹波漆			
<b>【研究活動の要約】</b>			
丹波地方では、生産性の高い精鋭樹“丹波一号”を独自に選抜し、植樹を進めている。本研究では、丹波漆を他の地方で栽培されているウルシノキの系統と区別するための DNA マーカーを開発した。元（社）林原共済会 岡山県真庭市蒜山植栽地には、全国各地から集められたウルシノキが栽培されている。福島県から徳島県の 19 個体についてその多型解析を行い、“丹波一号”を含めた各系統を区別する DNA マーカーの開発に成功した。これらの成果の一部は、「丹波漆再興、科学で支援 府立大教授ら遺伝子解析」として京都新聞に掲載された。			
<b>【研究活動の成果】</b>			
丹波地方では、生産性の高い精鋭樹“丹波一号”を独自に選抜し、植樹を進めている。元（社）林原共済会 岡山県真庭市蒜山植栽地には、全国各地から集められたウルシノキが栽培されている。福島県から徳島県の 19 個体について、その DNA の多型解析を行い、“丹波一号”との比較を行った。まず、葉緑体 DNA の tRNAL-F マーカーを用いたところ、今回解析した国内産ウルシノキは全て日本型で中国型の個体は存在しないことが分かった。この結果は、日本で栽培されているウルシノキが中国で栽培されているウルシノキと異なった系統にある可能性を示唆している。続いて、より詳細に個体群間の識別が可能になる cDNA-SSR マーカーを用いて、DNA 多型解析を行った。その結果、日本産の 18 個体の識別が可能である事が分かった。“丹波一号” (TNB) を他の国産ウルシノキと識別することができる cDNA-SSR マーカーを開発する事に成功した。今後、このマーカーを使い、全国のウルシノキの峻別が可能になると期待される。			
<b>【研究成果の還元】</b>			
H24/7/3 京都新聞「丹波漆再興、科学で支援 府立大教授ら遺伝子解析」掲載 H24/5/26 「日本農芸化学会関西支部会第 474 回公演会」要旨集 （関連活動 NPO 丹波漆関係） H24/6/14 両丹日日新聞「苗木から育てた「文化財の森」で漆掻き NPO 丹波漆が初鎌」掲載 H24/6/15 京都新聞「丹波漆の技、映像作品に 生産や鎌入れ、300 年の歴史」掲載			
<b>【お問い合わせ先】</b>		学部（研究科） 植物分子生物学研究室	教授・椎名隆
		E-mail: shiina@kpu.ac.jp	

**京都新聞**

京都新聞社  
平成24年7月3日  
17時45分 更新

天気予報  
7/3 18時 21時  
京都北部  
京都南部  
滋賀北部  
滋賀南部

特集  
深掘り  
私の333  
山と人  
第42回 京都新聞  
お話を絵にする  
コンクール  
作品募集  
上村淳之展  
作家の眼

東京サテライト2012年10月開設予定 No.1 & the Only One!  
札幌サテライト2012年4月開設 **京都情報大学院大学**

English  
文字の大きさ  
中 大  
バックナンバー

● 京都新聞トマト倶楽部 ● マイベストフロ ● 出版案内 ● 福祉事業団 ● 47NEWS ● 検索

住まい 京都の病院 老舗案内 お取り寄せ 日本人の忘れもの 納涼床 祇園祭 高校野球 閃電計画停電 その他  
トップ 滋賀ニュース 地域ニュース 政治・社会 スポーツ 経済 教育・大学 観光・社寺 国際 環境・科学 動画 社説 凡語

**丹波漆再興、科学で支援 府立大教授ら遺伝子解析**



京都府福知山市夜久野町の漆の木の植栽地。遺伝子を解析して丹波漆のブランド化につなげる（椎名隆京都府立大教授提供）

印刷用画面を開く

かつて国内有数の生産地だった京都府福知山市夜久野町の漆の再興に役立ててもらおうと、京都府立大の教授らが漆の優良木「丹波1号」などの遺伝子解析を進めている。分子レベルで品種改良や品質向上を進め、「丹波漆をブランド化したい」と意気込む。

夜久野産の漆は透明度が高く、明治期には「丹波漆」と呼ばれて国内有数の生産量を誇り、伝統工芸品である京漆器を支えていた。中国産の輸入や化学塗料の普及で生産量は激減したが、地元住民を中心に漆の木の植栽や技術の継承に力を入れている。

府立大生命環境科学研究科の椎名隆教授や石崎陽子研究員らは、再興に向けた活動を支援しようと、昨年度から漆の遺伝子解析を始めた。これまでに約6千個の遺伝子を確認、漆の主成分ウルシオール合成にかかわる酵素遺伝子の絞り込みを進める一方、「丹波1号」に特徴的な遺伝子を探索している。

解析が進めば、高品質の漆を多く採れる品種の開発や、「丹波1号」の漆の品質をアピールできるという。椎名教授は「最先端の科学の力を、伝統ある丹波漆の再興と地域振興につなげていきたい」と話している。

【2012年07月03日 15時40分】

**絶品 牛すじ煮込み**

上質な牛すじを、柔らかくなるまでコトコトと、じっくり煮込みました。(おかげさまでTV、雑誌で話題です) 京都居酒屋「やすだ」より、真心こめてお届けします。

閃電計画停電  
▶ 特集 閃電計画停電

東日本大震災  
▶ 特集 東日本大震災  
▶ 東日本大震災被害「救援金」受け付け  
▶ 義援金・ボランティア情報

三菱UFJニコス 詳しくはこちら

年会費 **2,000** 円のゴールドカード  
※空港ラウンジサービスなどの一部サービスはご利用いただけません

MUFG CARD